



銭座小 学校だより

つながる心

～学校教育目標～

みんなの笑顔 つながる心 未来をひらく

令和8年9月29日 第30号

発行者 校長 山本 高靖

令和8年度 各種学力調査結果のご報告

長崎市立小学校においては、毎年1学期に、3、4年生で市学力調査、5年生で県学力調査、6年生で全国学力調査を実施しています(前学年までの学習成果が反映されます)。これに加え、銭座小では、2年生も学校予算で学力調査(3、4年生と同様の調査)を実施しています。

8月までに全ての結果がそろいましたので、本校の結果概要についてご報告します。

まず、下表は、県や全国平均値との比較です。

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	掲 載 省 略				
算数					

◎：大きく上回った

○：上回った

≡：県又は全国と同等

▽：下回った

▼：大きく下回った

※ 2～4年生と6年生は
全国平均との比較

5年生は県平均との比較

学校全体としては、県や全国のレベルには、やや届いていないという状況です。

分析結果の概略としては、国語では特に「文章を書くこと(漢字を含む)」、算数では特に「四則計算」でつまづいている児童が多く見られました。

また、各学年や個人の弱点を克服するために、2学期以降、学年ごとに重点的に取り組む内容を決めています。下表は、その一部です。ご参照ください。

1年生	- 授業や行事等の感想を書く機会をつくり、文章を書くことを習慣化させる。 - ブロック操作を通して、「10といくつ」という数の見方に着目し、計算させる。
2年生	- 文の順序や内容のまとまりが分かる文章を書く練習をする。 2学期にかけ算九九を習得、3学期にマス計算や小テストを繰り返し、定着を図る。
3年生	- 文章を書くときに、必ず理由と事例を入れて書かせる。 - バリバリタイム、家庭学習、授業の5分程度を活用し、繰り返し計算の反復練習をする。
4年生	- 定期的に漢字の小テストを実施し、定着を図る。 - 九九や筆算、文章問題からの立式について、個別指導や家庭学習に力を入れる。
5年生	- 説明文の単位では、字数を制限、キーワードを提示して、要約の練習を繰り返す。 - 毎日の宿題プリントや、キュビナを用いた下学年までの復習などに取り組む。
6年生	- 指定された文字数内で、相手に分かりやすく書く力を重点的に伸ばす。 - 文意をとらえ、図を用いて立式し、答えを求めることができる力を伸ばす。

また、6年生の学力調査では児童質問紙調査も実施されています。次の5項目は特に全国平均を大きく(20ポイント以上)上回るすばらしい結果でした。

- ①英語の勉強が好き (全国 66.7%、銭座小 100%で+33.3ポイント)
- ②国語の勉強が好き (同様に、+26.8)
- ③分からないことなどに対し、自分で学び方を工夫できる (+20.6)
- ④総合の時間ではPCを使って情報の収集、整理、発表ができる (+20.3)
- ⑤授業ではほぼ毎日ICTを活用している (+20.1)

※ 学力向上プランは、学校ホームページに掲載しております。よろしければ、そちらもご覧ください。